



さん さん 燦 燦

佐世保市立清水中学校
学校だより10号
令和6年 7月16日
校長 椰尾 吉嗣

学校教育目標：「明るく、自ら求めて伸びる生徒の育成」

校訓：凜と在れ

生徒会スローガン：「新風」～もっと先へ～

1学期終了まであと三日

7月に入って不安定な天気の日が続いています。たまに覗く太陽の眩しさが非常に懐かしく感じるほどです。長い期間にわたって降った雨の影響で、地盤も緩くなり土砂崩れなどの被害も心配されます。この後も川の増水や土砂崩れなど自然災害には十分気をつけなければなりませんし、決して他人ごととして捉えないようにしましょう。家庭、学校、地域においても、もしもの場合に備えた準備、構えが必要になってきます。ご家庭においても避難所の確認、緊急時の連絡体制などぜひご確認をお願いいたします。

なかなかカラッとした天気には恵まれない7月初旬でしたが、学校は1学期の締めくくりとして日々の授業はもちろん、新校舎への移転作業も含めて、さまざまな取組を通して学びを深めています。7月に入ってからも、以下のような各学年での取組を行っております。

3年生	租税教室	7/2(火)	清水地区コミセン
1年生	保健体育(水泳授業)	7/2(火)-4(木)	総合Gプール
2年生	職場体験学習に向けたマナー講座	7/4(木)	清水地区コミセン
全校生徒	生徒総会	7/5(金)	本校体育館
全校生徒	校舎移転記念セミナー	7/10(水)	本校体育館
3年生	進路説明会	7/11(木)	清水地区コミセン

清水地区コミュニティセンターの講堂は、ひと学年が十分な間隔を取って座れなおかつ落ち着いた状況で話が聞ける環境です。また、現在の本校は学校施設整備事業の工事の一環でプールがない状態です。一日ひとクラスずつ総合グラウンドの25mプールでの授業ですが整った環境の中で楽しく真剣に臨んでいます。何を行うにも場の設定というのは、効率を上げたり集中力を高めるためには大切な要素になることを再確認しました。



令和6年度 佐世保市少年の主張大会

7月6日(土)に、佐世保市体育文化館コミュニティセンターにおいて少年の主張大会が開催され、市内30校の代表生徒(今年度から佐世保特別支援学校も参加)が“日常生活の中で感じていることや思い”

“将来への夢や社会への提言”等を発表しました。本校からも3年生の松本みなみさんが発表者として出場し、『人のために』という演題で立派

に思いを述べてくれました。各校の代表者たちの素直な気持ち、思いを聞き、大人である私たちもはっと気づかされることや感心することが多かった実りある時間でした。画像や動画などコミュニケーションの回り方も変わっていく中、伝えたいことを文章で相手に届ける。手間暇はかかりますが、深みがあり、相手の心にもいつまでも残るのではないのでしょうか。皆さんも思いを文章で届ける夏休みに挑戦してみてはいかがでしょうか。きっと素敵な時間が作れると思います。



裏面に続きます

校舎移転記念セレモニーを行いました（7/10）

7月10日に実行委員会を中心とした、生徒による手作りの「現校舎お別れ式」を行いました。

周年の記念誌や学校沿革を開き歴史を遡ってみると、今私たちが教室として使っている校舎は昭和33年から36年にかけて鉄筋コンクリート3階建てで竣工と記されています。今から60数年前の話です。今年度の清水中の生徒数は266名ですが、これまでの歴史の中で生徒数が一番多かったのは昭和37年の2,096名という人数が記録されています。現在の8倍弱の生徒数となります。この頃の中学生だった先輩たちは70代後半になられます。

令和5年度までの本校卒業生は23,523名ですが、その数と同じだけの、汗や涙、喜びや悲しみ、友と語り合ったり喧嘩したり思い出が現校舎の隅々に詰まっていることでしょう。

いよいよこの夏休みに新校舎へと移っていく在校生の皆さん。歴史を引き継ぎ紡ぐ者として20,000人以上の先輩たちの思いをしっかりと受け止め、現校舎に感謝と労いの気持ちを持ち、2学期から使用する新校舎も大切に使用して、脈々と続く後輩たちにも多くの思い出や記憶が詰まった学び舎にしていくことこそが、清水中に学ぶ者としての誇りです。

今年度生徒会スローガン『新風』～もっと先へ～のとおり、新校舎という新しい環境とともに、もっと先へ新たな風を吹き込んでいきましょう。



リードしてくれた実行委員さんたちです

鮮明な画像等は、ホームページでご覧ください。